

2025年度 第3四半期 決算

-
- I. 2025年度 第3四半期累計決算概要
 - II. 2025年度 第3四半期 決算概要
 - III. 2025年度 通期 業績予想
 - IV. 補足資料
-

シャープ株式会社
2026年2月10日

- ・ 本日はご多忙な中、ご参加頂き ありがとうございます。
また、日頃は、当社の広報活動・IR活動にご協力頂き、
まことにありがとうございます。
- ・ それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

連結業績概要

- ・ 第3四半期累計のブランド事業の売上高は、
需要の低迷や競争環境の激化の影響などがあり減収となりましたが、
営業利益は前年同期比で2桁増益を達成。

ディスプレイデバイスは減収となるも、営業赤字が縮小。

全社トータルで減収となったものの、
営業利益は 409億円となり、前年同期の203億円から倍増。
- ・ 経常利益・最終利益も大きく改善。

・ 売上高、営業利益は想定通り進捗。
通期の業績予想に事業構造改革費用を追加で織り込むも、
営業外損益が改善する見通しであることもあり、
前回公表の最終利益を達成できる見込み。

SHARP

1

- ・ 次のスライドをご覧ください。連結業績の概要になります。
- ・ 第3四半期までの累計のブランド事業の売上高は、
需要の低迷や競争環境の激化などがあり減収となりましたが、
営業利益は前年同期比で2桁増益を達成できました。

ディスプレイデバイスは減収となったものの、営業赤字が縮小しました。

その結果、全社トータルで減収となったものの、
営業利益は 409億円で、前年同期の203億円から倍増しました。
- ・ 経常利益・最終利益についても、大きく改善しました。
- ・ 売上高、営業利益は想定通り進捗しております。
また、今回、通期の業績予想に、事業構造改革費用を追加で織り込みましたが、
営業外損益が改善する見通しであることもあり、
前回公表の最終利益を達成できる見込みとなっています。

I. 2025年度 第3四半期累計決算概要

- ・まずは、2025年度第3四半期までの累計実績になります。

2025年度 第3四半期累計 連結業績概要

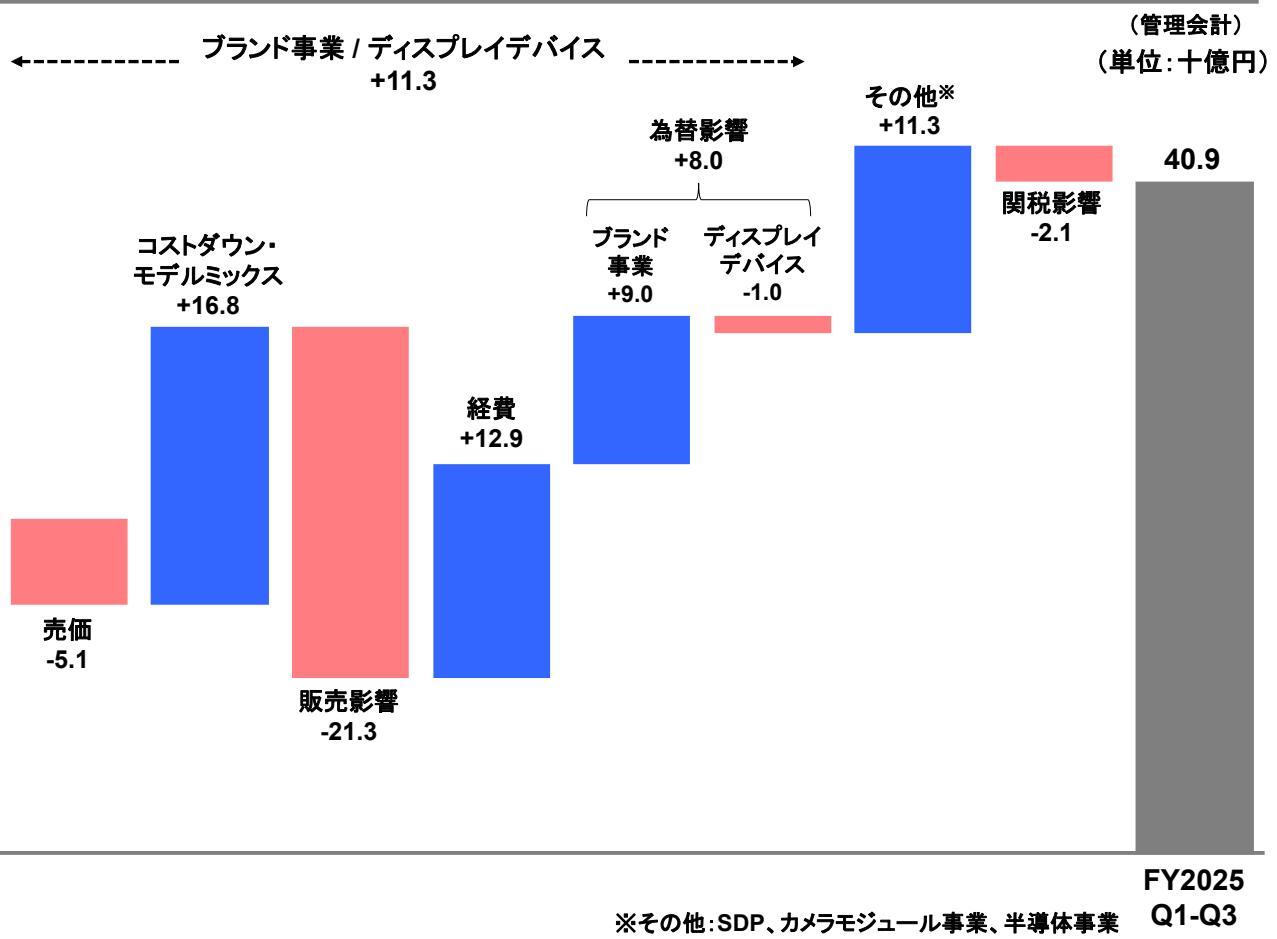
(単位:十億円)	FY2024		FY2025	
	Q1-Q3	Q1-Q3	Y on Y	増減率
売上高	1,657.9	1,417.6	-240.3	-14.5%
営業利益	20.3 (1.2%)	40.9 (2.9%)	+20.6	+101.0%
経常利益	0.8 (0.1%)	47.7 (3.4%)	+46.9	+5,640.8%
最終利益	-3.5 (-0.2%)	67.5 (4.8%)	+71.0	-
平均為替レート				
ドル円	152.55	148.75		
ユーロ円	164.80	171.84		

SHARP

3

- ・次のスライドをご覧ください。第3四半期までの累計業績です。
- ・売上高は、1兆4,176億円となりました。
- ・利益につきましては、
営業利益が409億円、経常利益が477億円、最終利益が675億円となり、
いずれも前年同期から大幅に伸長しました。

営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

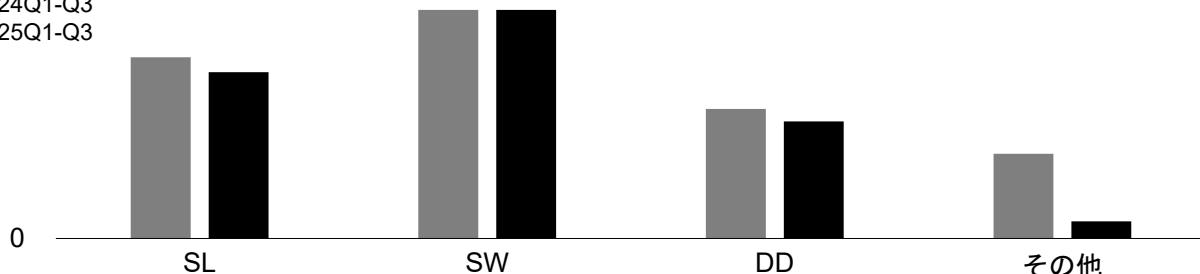


- 次のスライドに、営業利益の前年同期からの増減を要因別にまとめていますので、ご覧ください。

セグメント別売上高

(単位:十億円)	FY2024	FY2025	
	Q1-Q3	Q1-Q3	Y on Y
スマートライフ	488.2	448.3	-8.2%
スマートワークプレイス	615.9	616.0	+0.0%
ブランド事業	1,104.2	1,064.4	-3.6%
ディスプレイデバイス	349.2	315.4	-9.7%
小計	1,453.5	1,379.8	-5.1%
その他	228.3	46.2	-79.8%
合計	1,681.8	1,426.0	-15.2%
調整額	-23.9	-8.3	-
全社	1,657.9	1,417.6	-14.5%

左棒 : FY2024Q1-Q3
右棒 : FY2025Q1-Q3



SHARP

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

5

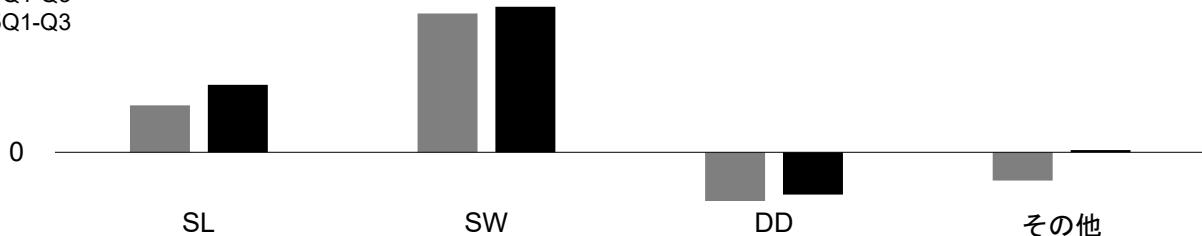
- ・次は、セグメント別 売上高の一覧です。
- ・第3四半期までの累計のブランド事業の売上高は、前年同期比 3.6% 減の 1兆644億円となりました。

セグメント別営業利益

(単位:十億円)	FY2024		FY2025	
	Q1-Q3	Q1-Q3	Y on Y	
スマートライフ	15.0 (3.1%)	21.7 (4.8%)	+43.8%	
スマートワークプレイス	44.6 (7.2%)	46.7 (7.6%)	+4.9%	
ブランド事業	59.6 (5.4%)	68.4 (6.4%)	+14.7%	
ディスプレイデバイス	-16.0 (-4.6%)	-13.5 (-4.3%)	-	
小計	43.6 (3.0%)	54.8 (4.0%)	+25.8%	
その他	-9.0 (-4.0%)	0.7 (1.5%)	-	
合計	34.5 (2.1%)	55.6 (3.9%)	+60.9%	
調整額	-14.1	-14.6	-	
全社	20.3 (1.2%)	40.9 (2.9%)	+101.0%	

左棒 : FY2024Q1-Q3

右棒 : FY2025Q1-Q3



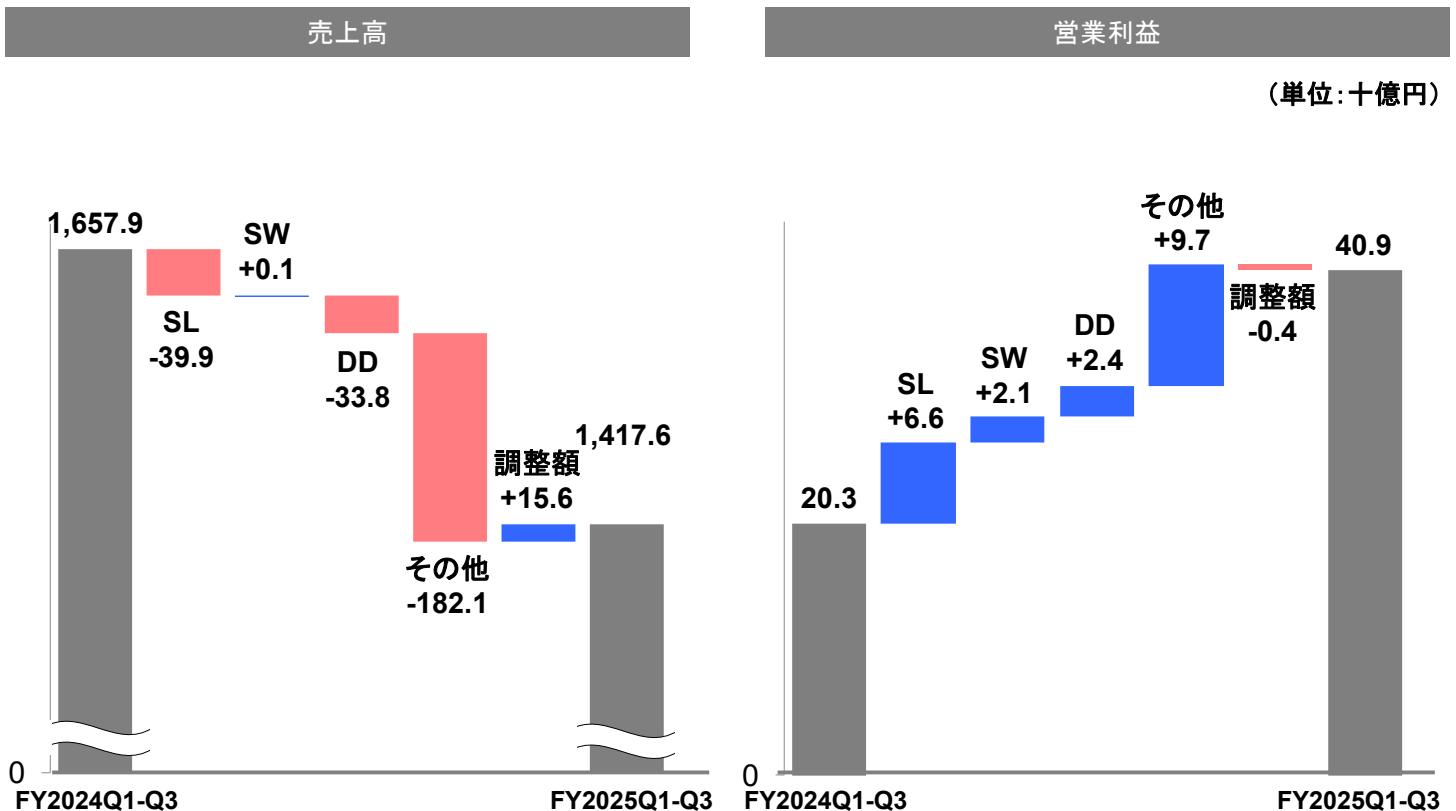
SHARP

※()内の数字は営業利益率です。

6

- 次は、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- ブランド事業の営業利益は、前年同期比 14.7% 増の 684 億円、
営業利益率は 6.4% となり、
ディスプレイデバイスについても、構造改革の進展などに伴い、
赤字が縮小しています。

セグメント別増減(対前年同期)



SHARP

7

- 次のスライドに、売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめていますので、ご覧ください。

II. 2025年度 第3四半期 決算概要

- ・次は、2025年度 第3四半期の実績について、ご説明させていただきます。

2025年度 第3四半期 連結業績概要

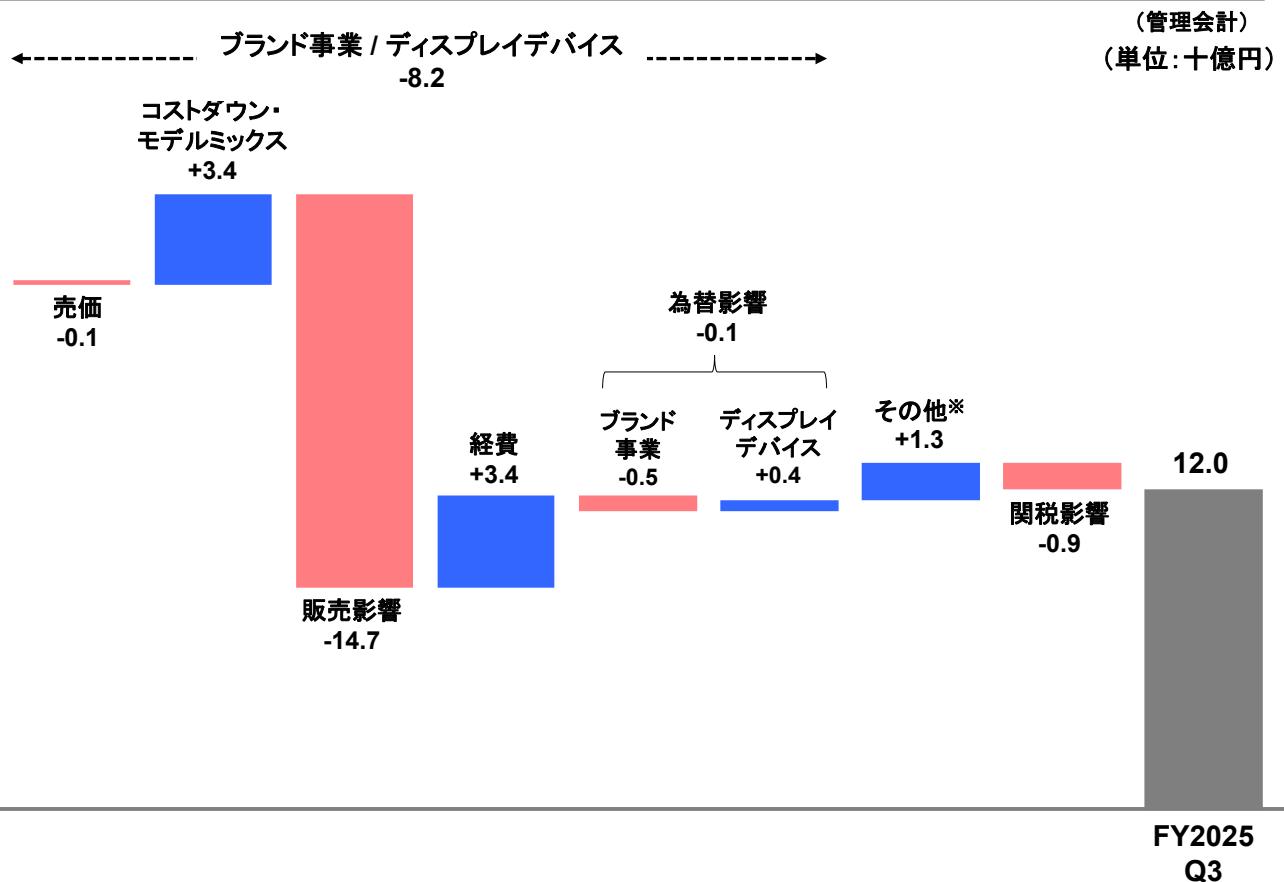
(単位:十億円)	FY2024				FY2025				Y on Y	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3		増減額	増減率
売上高	531.9	564.4	561.5	502.1	472.4	477.8	467.3	-94.2	-16.8%	
営業利益	-5.8	6.2	19.9	6.9	15.3	13.6	12.0	-7.9	-39.6%	
	(-1.1%)	(1.1%)	(3.5%)	(1.4%)	(3.2%)	(2.9%)	(2.6%)			
経常利益	-10.1	11.6	-0.6	16.8	18.5	14.9	14.1	+14.7		-
	(-1.9%)	(2.1%)	(-0.1%)	(3.4%)	(3.9%)	(3.1%)	(3.0%)			
最終利益	-1.2	24.2	-26.5	39.6	27.2	18.2	22.0	+48.5		-
	(-0.2%)	(4.3%)	(-4.7%)	(7.9%)	(5.8%)	(3.8%)	(4.7%)			
平均為替レート										
ドル円	155.89	149.32	152.44	152.61	144.60	147.48	154.15	-	-	-
ユーロ円	167.88	163.95	162.59	160.50	163.81	172.31	179.39	-	-	-

SHARP

9

- ・次のスライドをご覧ください。第3四半期の業績です。
- ・売上高は、4,673億円となりました。
- ・利益につきましては、
営業利益が 120億円、経常利益が 141億円、最終利益が 220億円となりました。

営業利益 要因別増減分析(対前年同期)



※その他:SDP、カメラモジュール事業、半導体事業

SHARP

10

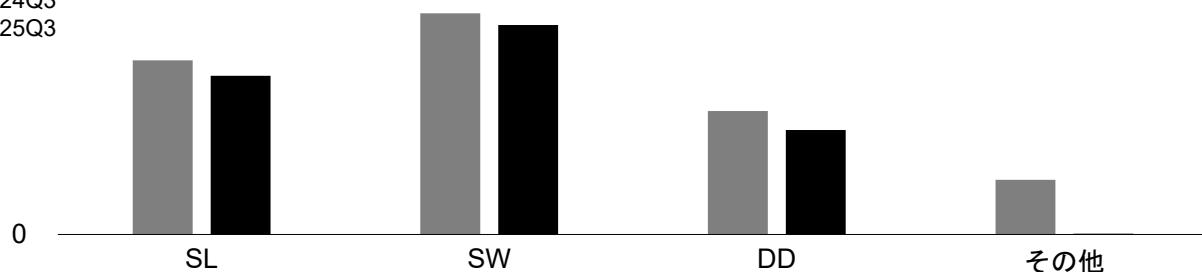
- 次のスライドに、営業利益の前年同期からの増減を要因別にまとめていますので、ご覧ください。

セグメント別売上高

(単位:十億円)	FY2024				FY2025			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
スマートライフ	157.1	158.6	172.5	155.2	140.3	150.7	157.1	-8.9%
スマートワークプレイス	189.4	207.4	219.1	220.3	189.3	219.1	207.5	-5.3%
ブランド事業	346.5	366.0	391.7	375.6	329.7	369.9	364.7	-6.9%
ディスプレイデバイス	101.7	125.2	122.3	102.9	109.2	102.6	103.5	-15.4%
小計	448.2	491.2	514.0	478.6	439.0	472.5	468.2	-8.9%
その他	93.3	80.7	54.2	28.8	38.0	7.2	0.8	-98.4%
合計	541.6	572.0	568.2	507.4	477.0	479.8	469.1	-17.4%
調整額	-9.6	-7.5	-6.6	-5.2	-4.5	-1.9	-1.7	-
全社	531.9	564.4	561.5	502.1	472.4	477.8	467.3	-16.8%

左棒 : FY2024Q3

右棒 : FY2025Q3



SHARP

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

11

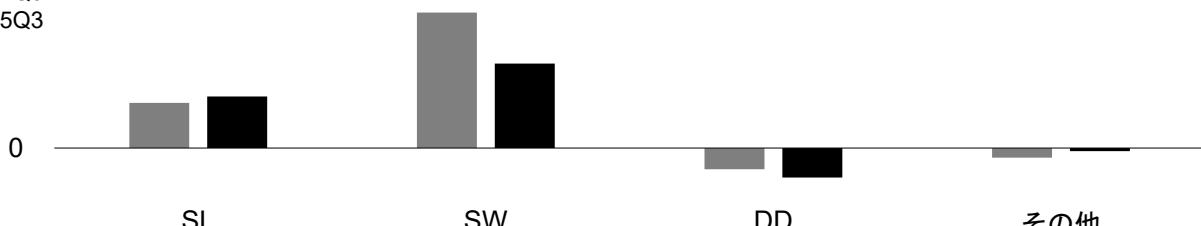
- ・次は、セグメント別 売上高の一覧です。
- ・ブランド事業の売上高は、前年同期比 6.9% 減の 3,647 億円となりました。

セグメント別営業利益

(単位:十億円)	FY2024				FY2025				Y on Y
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3		
スマートライフ	4.1 (2.6%)	3.5 (2.3%)	7.3 (4.3%)	6.8 (4.4%)	6.8 (4.9%)	6.4 (4.2%)	8.4 (5.4%)	+14.2%	
スマートワークプレイス	10.1 (5.4%)	12.3 (5.9%)	22.1 (10.1%)	15.0 (6.8%)	14.2 (7.5%)	18.7 (8.6%)	13.7 (6.6%)	-37.6%	
ブランド事業	14.3 (4.1%)	15.8 (4.3%)	29.4 (7.5%)	21.9 (5.8%)	21.0 (6.4%)	25.1 (6.8%)	22.2 (6.1%)	-24.7%	
ディスプレイデバイス	-10.9 (-10.8%)	-1.6 (-1.3%)	-3.4 (-2.8%)	-10.8 (-10.6%)	-2.5 (-2.3%)	-6.2 (-6.1%)	-4.8 (-4.6%)	-	
小計	3.3 (0.7%)	14.2 (2.9%)	26.0 (5.1%)	11.0 (2.3%)	18.5 (4.2%)	18.9 (4.0%)	17.3 (3.7%)	-33.2%	
その他	-4.0 (-4.3%)	-3.4 (-4.3%)	-1.5 (-2.9%)	1.2 (4.4%)	1.3 (3.5%)	-0.1 (-1.6%)	-0.5 (-58.8%)	-	
合計	-0.6 (-0.1%)	10.7 (1.9%)	24.4 (4.3%)	12.3 (2.4%)	19.9 (4.2%)	18.8 (3.9%)	16.8 (3.6%)	-31.0%	
調整額	-5.1	-4.4	-4.5	-5.3	-4.6	-5.1	-4.8	-	
全社	-5.8 (-1.1%)	6.2 (1.1%)	19.9 (3.5%)	6.9 (1.4%)	15.3 (3.2%)	13.6 (2.9%)	12.0 (2.6%)	-39.6%	

左棒 : FY2024Q3

右棒 : FY2025Q3



SHARP

※()内の数字は営業利益率です。

12

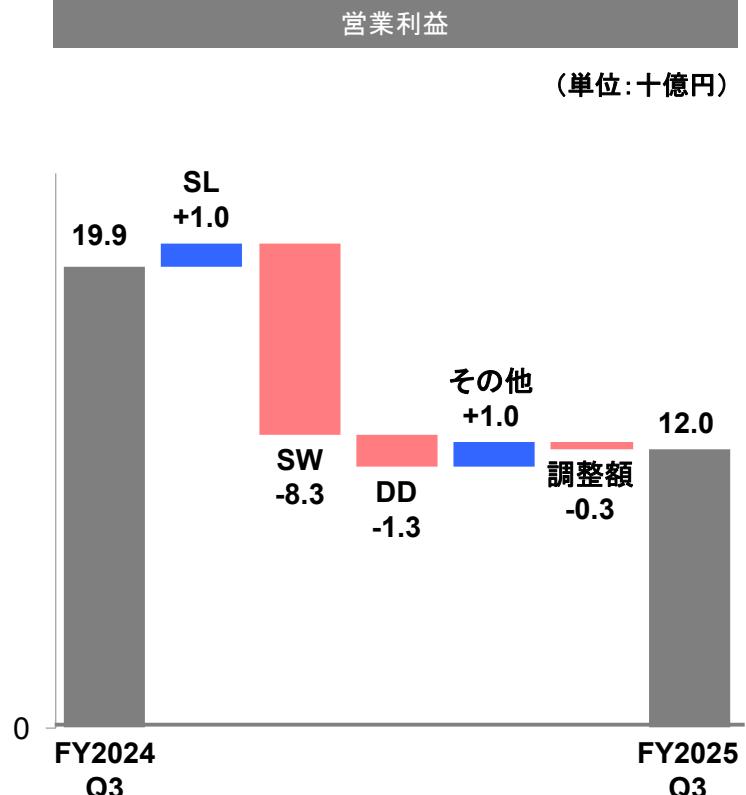
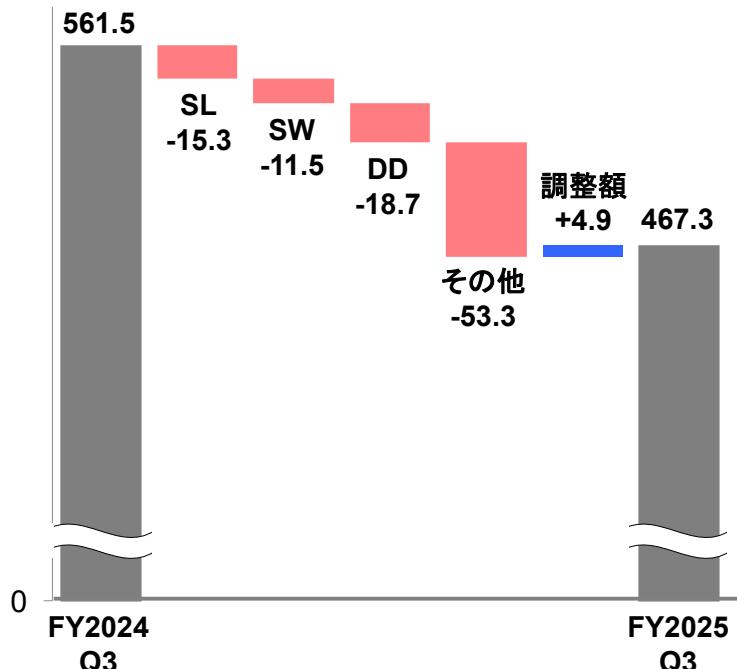
- 次は、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- ブランド事業の営業利益は、前年同期比 24.7%減の 222億円、
営業利益率は 6.1%となりました。

セグメント別増減(対前年同期)

売上高

営業利益

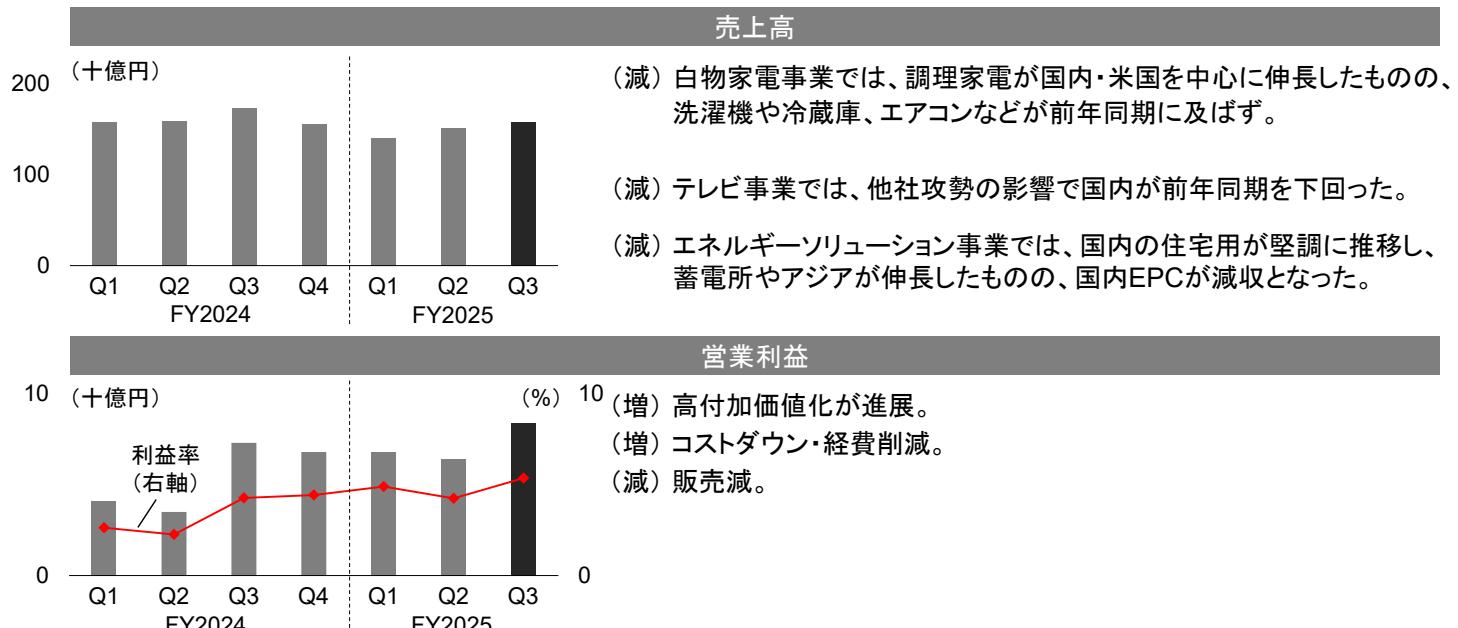
(単位:十億円)



- 次のスライドに、売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめていますので、ご覧ください。

スマートライフ

(単位:十億円)	FY2024				FY2025				Y on Y
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3		
売上高	157.1	158.6	172.5	155.2	140.3	150.7	157.1	-8.9%	
営業利益	4.1	3.5	7.3	6.8	6.8	6.4	8.4	+14.2%	
(利益率)	(2.6%)	(2.3%)	(4.3%)	(4.4%)	(4.9%)	(4.2%)	(5.4%)		



SHARP

14

- 次は、セグメントごとの概況になります。まずは、スマートライフです。
- 売上高は、白物家電事業、テレビ事業、エネルギー・ソリューション事業とも減収となり、前年同期比 8.9% 減の 1,571 億円となりました。

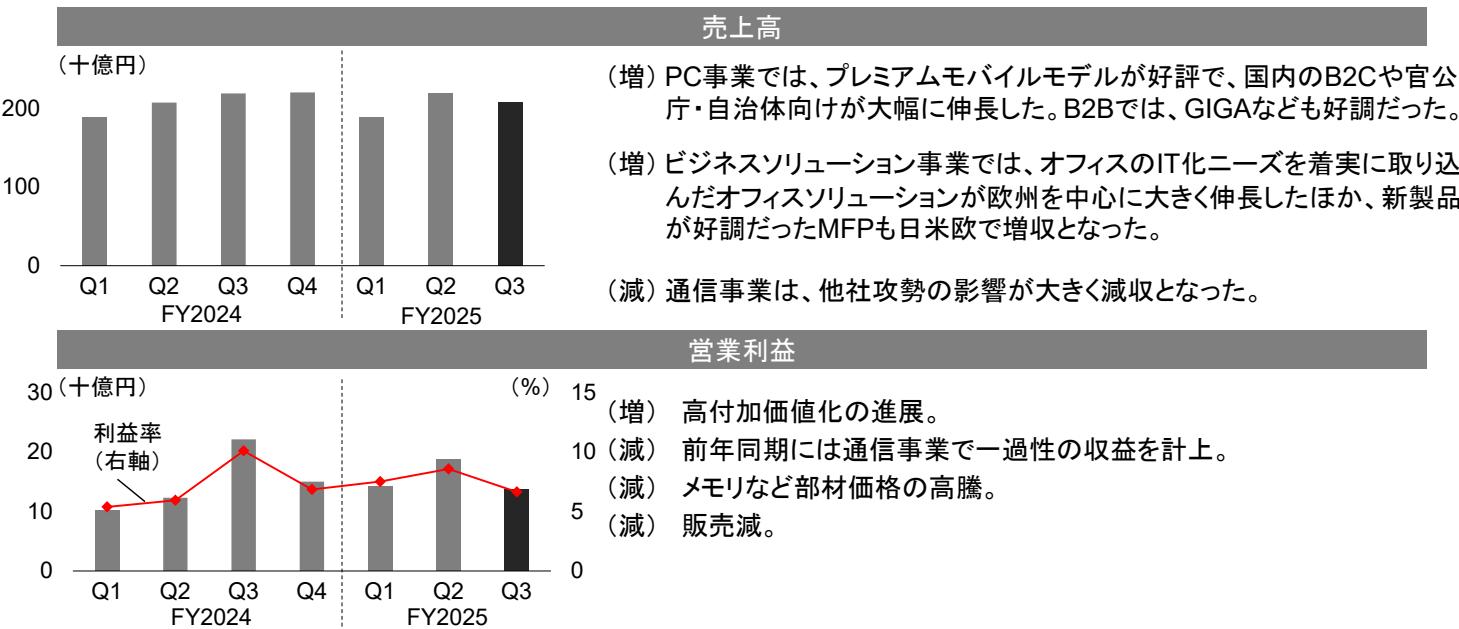
白物家電事業は、国内では、ヘルシオが好調だった調理家電が伸長したものの、市況の厳しかった洗濯機や冷蔵庫が前年同期に及びませんでした。一方、海外では、米州の調理家電が引き続き伸長したほか、タイやベトナムで空気清浄機や除湿機が好調に推移しましたが、冷夏により ASEAN のエアコンの流通在庫が高止まりした影響でエアコンの販売が不調でした。

テレビ事業では、他社攻勢の影響から国内の売上が前年同期を下回りました。エネルギー・ソリューション事業は、国内の住宅用が堅調に推移し、蓄電所やアジアが伸長したものの、国内EPCなどの売上が減少しました。

- 営業利益は 14.2% 増の 84 億円、営業利益率は 5.4% となりました。高付加価値化を進めたこともあり、販売減の影響があるなかでも増益とすることができます、営業利益率も 5% を超えました。

スマートワークプレイス

(単位:十億円)	FY2024				FY2025				Y on Y
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q3	
売上高	189.4	207.4	219.1	220.3	189.3	219.1	207.5	207.5	-5.3%
営業利益	10.1	12.3	22.1	15.0	14.2	18.7	13.7	13.7	-37.6%
(利益率)	(5.4%)	(5.9%)	(10.1%)	(6.8%)	(7.5%)	(8.6%)	(6.6%)	(6.6%)	



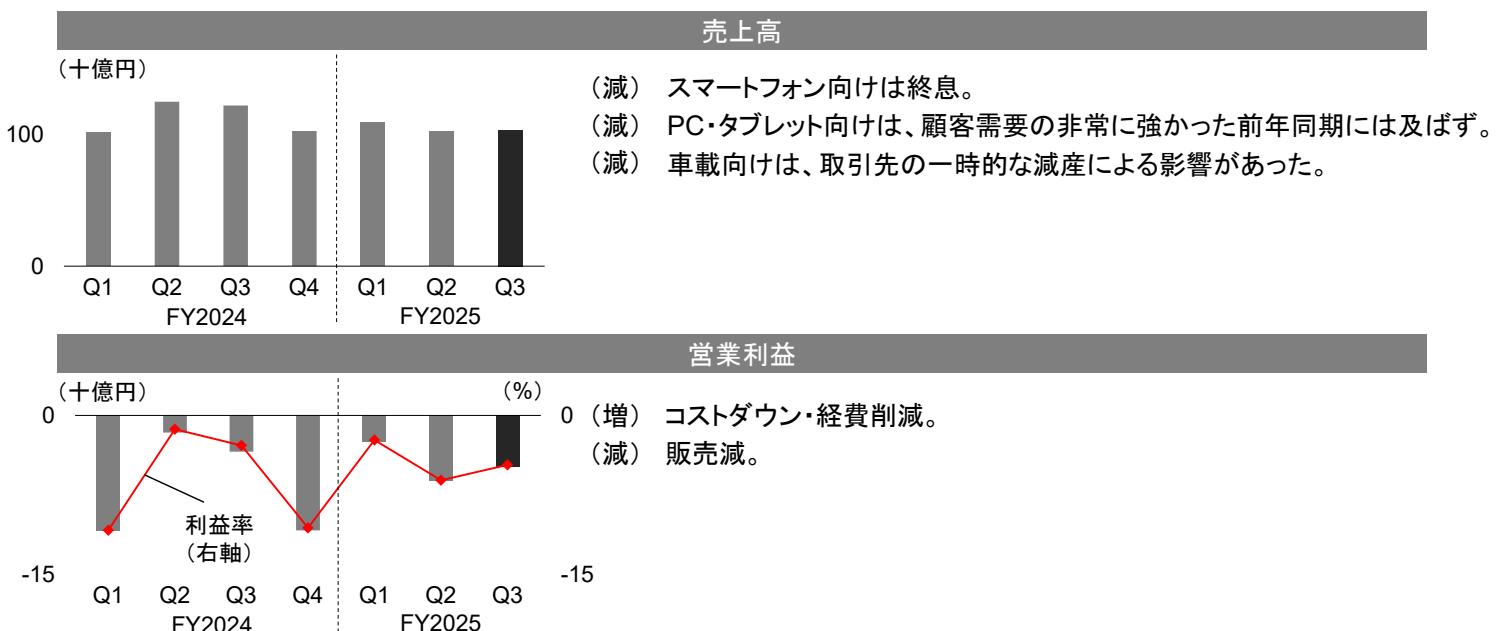
SHARP

15

- ・ 次は、スマートワークプレイスです。
- ・ 売上高は、PC事業、ビジネスソリューション事業が増収、通信事業が減収となり、前年同期比 5.3% 減の 2,075 億円となりました。
- PC事業では、Windows11への切り替え需要が継続するなか、プレミアムモバイルモデルが好評で、国内のB2Cや官公庁・自治体向けが大幅に伸長しました。特にB2Cは、年末にかけてメモリ価格上昇を意識して購入を急ぐ動きもあり7割超の増収となりました。また、B2Bでは、官公庁・自治体向けのほか、GIGAも好調でした。
- ビジネスソリューション事業では、オフィスソリューションやMFPが好調でした。オフィスソリューションは、世界的にオフィスのIT化が進むなか、特にそうした動きが顕著な欧州でのニーズを取り込めたことから、大幅な増収となりました。
- MFPは、厳しい事業環境が続いているものの、新製品が好調に推移したことから、日欧に加え、政府機関の閉鎖や関税の影響があった米国でも増収となりました。
- 通信事業では、他社攻勢の影響が大きく、前年同期を下回りました。
- ・ 営業利益は 37.6% 減の 137 億円、営業利益率は 6.6% となりました。
- メモリなどの価格が高騰したことにより、前年同期には通信事業で一過性の収益を計上したこともあり、減益となりましたが、高付加価値化を進めたことなどから、引き続き高い利益率を確保できています。

ディスプレイデバイス

(単位:十億円)	FY2024				FY2025				Y on Y
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q3	
売上高	101.7	125.2	122.3	102.9	109.2	102.6	103.5	-15.4%	
営業利益	-10.9	-1.6	-3.4	-10.8	-2.5	-6.2	-4.8	-	
(利益率)	(-10.8%)	(-1.3%)	(-2.8%)	(-10.6%)	(-2.3%)	(-6.1%)	(-4.6%)		



- ・ 次は、ディスプレイデバイスです。
- ・ 売上高は、前年同期比 15.4% 減の 1,035 億円となりました。
 これは、スマートフォン向けを終息したこと、
 PC・タブレット向けが顧客需要の非常に強かった前年同期に及ばなかったこと、
 車載向けで取引先の一時的な減産による影響があったことなどによるものです。
- ・ 営業利益は、コストダウン・経費削減を進めたものの、販売が減少したことから、
 前年同期の34億円の赤字に対して、48億円の赤字となりました。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)	FY2024				FY2025			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y 増減額
営業利益	-5.8	6.2	19.9	6.9	15.3	13.6	12.0	-7.9
営業外損益	-4.3	+5.3	-20.5	+9.8	+3.2	+1.3	+2.1	+22.6
内:支払利息	-2.6	-2.1	-3.0	-2.4	-2.0	-2.2	-2.1	+0.9
為替差損益	-7.4	+4.3	-17.5	+7.9	+1.2	-0.3	+0.5	+18.0
投資関連収益・費用	+0.2	+0.8	+0.3	+0.5	-0.2	+0.0	+0.0	-0.3
持分法による投資損益	+2.3	+2.4	+1.4	+1.6	+2.1	+1.8	+2.0	+0.6
経常利益	-10.1	11.6	-0.6	16.8	18.5	14.9	14.1	+14.7
特別損益	+11.7	+18.2	-22.1	+28.1	+11.7	+5.5	+12.5	+34.6
内:投資有価証券売却益	+10.1	+18.1	-	-	+0.0	+0.0	-	-
固定資産売却益	+0.0	+0.0	+1.8	+76.1	+11.6	+7.8	+14.3	+12.5
事業譲渡益	-	-	-	-	+0.8	-0.8	+1.9	+1.9
関係会社株式売却益	-	-	-	-	-	+1.2	-	-
事業構造改革費用	-3.4	+1.0	-8.8	-18.5	-	-	-3.0	+5.8
減損損失	-1.2	-5.6	-17.2	-30.1	-0.5	-2.5	-0.5	+16.7
税前利益	1.6	29.8	-22.7	44.9	30.3	20.4	26.6	+49.3
法人税等 他	-2.8	-5.6	-3.7	-5.2	-3.0	-2.2	-4.6	-0.9
最終利益	-1.2	24.2	-26.5	39.6	27.2	18.2	22.0	+48.5

SHARP

17

- ・次は、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・第3四半期には、本社工場棟の売却などによる「固定資産売却益」や
カメラモジュール事業に係る「事業譲渡益」を特別利益として計上したほか、
テレビ事業の強化に向けマレーシア工場の構造改革を進めたことに伴い、
「事業構造改革費用」が特別損失として発生しました。

連結貸借対照表推移

- ・自己資本比率が17.8%まで上昇するなど、財務基盤の強化は当社の想定を上回るペースで進んでいる。

						(単位:十億円)			
	FY2024		FY2025			FY2024		FY2025	
	3月末	9月末	9月末	12月末		3月末	9月末	12月末	
現預金	279.3	242.6	241.7		買掛金等	289.7	295.5	302.6	
売掛金等	379.7	369.4	380.0		短期借入金	111.2	475.1	437.2	
棚卸資産	242.0	248.8	265.9		1年内社債	0.0	0.0	0.0	
その他	78.6	96.5	87.6		その他	355.9	311.6	308.7	
流動資産 計	979.8	957.5	975.4		流動負債 計	756.9	1,082.2	1,048.6	
有形固定資産	201.8	190.5	183.4		社債	0.0	0.0	0.0	
無形固定資産	36.5	34.2	33.6		長期借入金	406.4	11.2	11.7	
投資その他資産	235.4	234.8	243.7		その他	122.6	102.3	104.8	
固定資産 計	473.9	459.5	460.8		固定負債 計	529.0	113.5	116.6	
資産合計	1,453.7	1,417.0	1,436.2		純資産	167.7	221.2	270.9	
期末日レート					負債純資産合計	1,453.7	1,417.0	1,436.2	
ドル円	149.53	148.89	156.54		自己資本比率	10.5%	14.6%	17.8%	
ユーロ円	162.03	174.51	184.26		自己資本	153.3	207.4	256.2	

SHARP

18

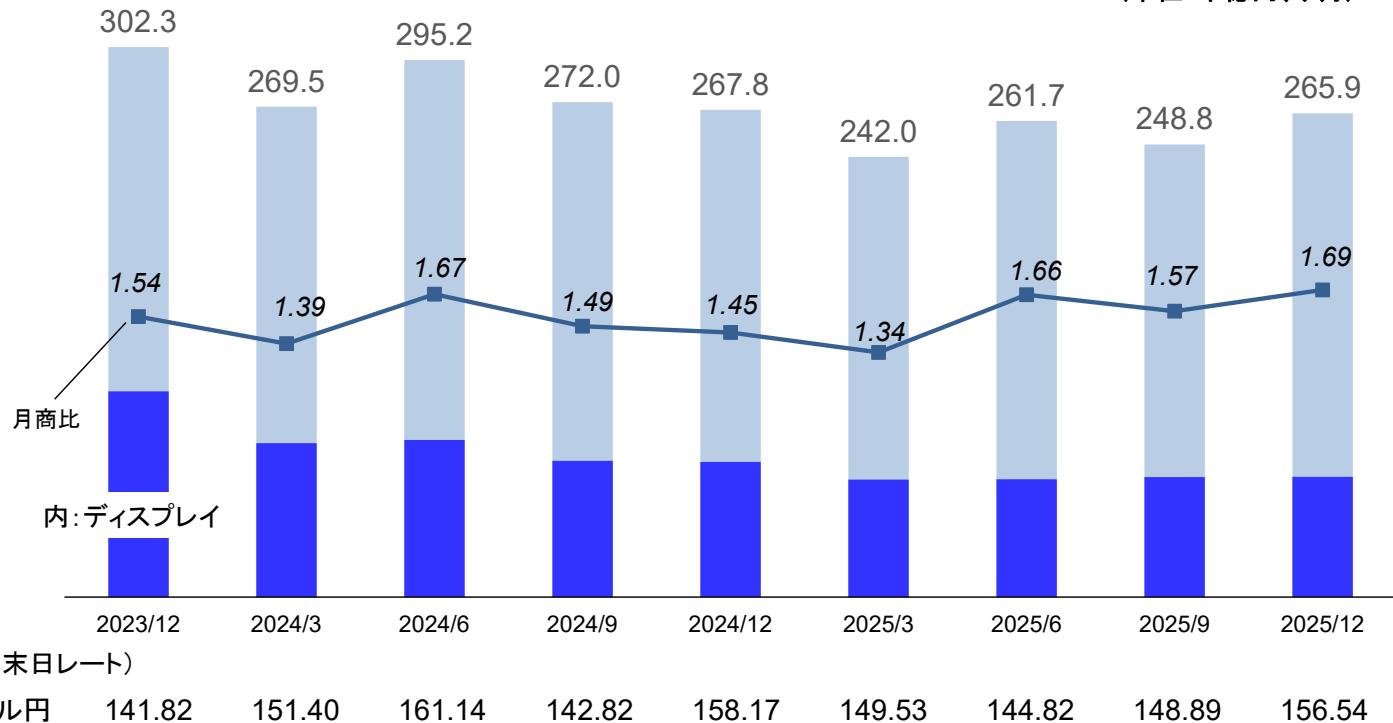
- ・次は、貸借対照表の推移です。

- ・「現預金」は、2025年9月末の 2,426億円に対し、2,417億円になりました。
 「純資産」は 2,212億円に対し、2,709億円、
 「自己資本比率」は、14.6%に対し、17.8%となっており、
 当社の想定を上回るペースで財務基盤の強化が進んでいます。

棚卸資産の推移

- ・棚卸資産は、円安の影響があったこと、需給がタイトで価格も高騰しているメモリなどを先行調達したことから、9月末から金額・月商比とも増加。
- ・今後の販売計画に沿った適正な在庫水準。

(単位:十億円、ヶ月)



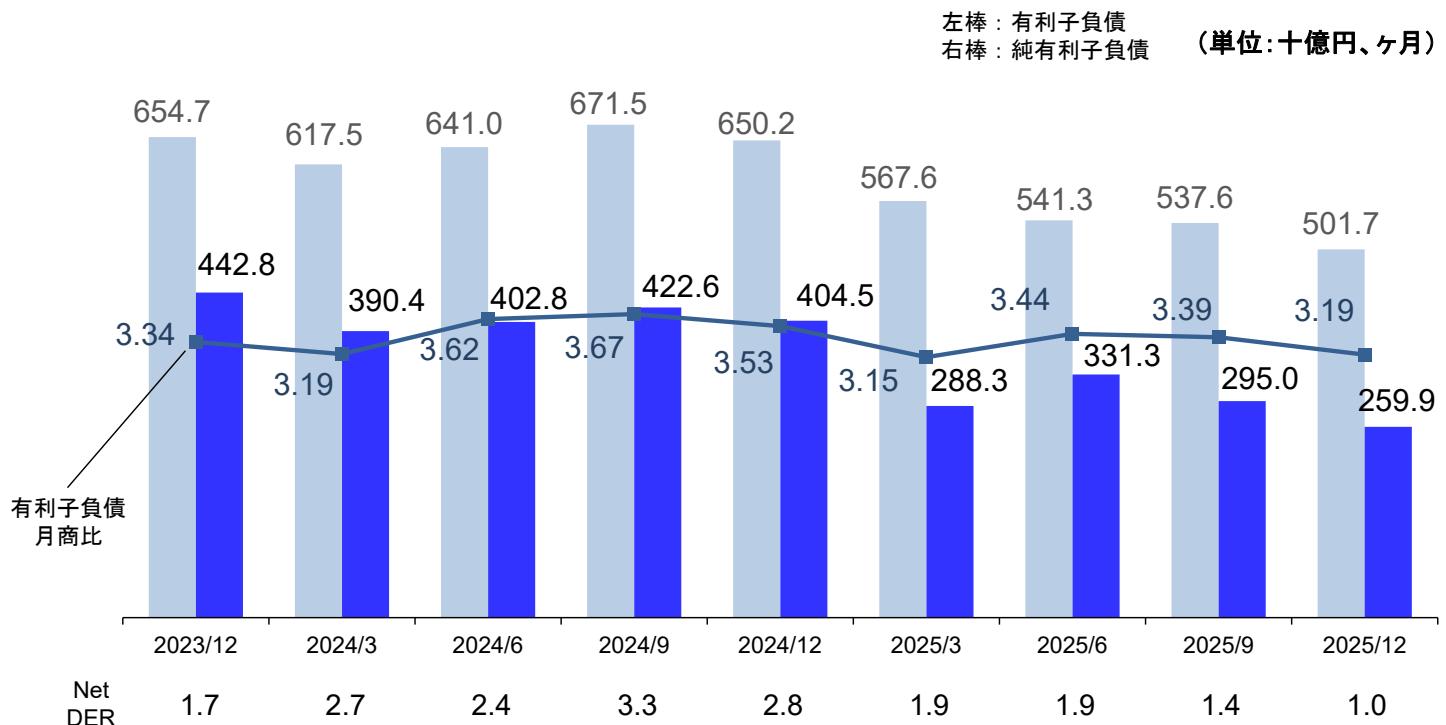
SHARP

19

- ・次は、棚卸資産の推移になります。
- ・棚卸資産は2,659億円、月商比では1.69ヶ月となりました。
円安の影響があったこと、需給がタイトで価格も高騰しているメモリなどを先行調達したことから、金額・月商比とも、9月末から増加していますが、今後の販売計画に沿った適正水準となっております。
- ・引き続き、状況の変化を注視し、適正な在庫の管理に努めてまいります。

有利子負債の推移

- ・2026年4月下旬に期日を迎えるシンジケートローン契約等の借り換えについては、主力行と諸条件の協議が概ね完了し、3月末までに契約を締結することを目標として進めている。



SHARP

※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

20

- ・次は、有利子負債の推移です。
- ・有利子負債は 9月末の 5,376億円から 5,017億円に、純有利子負債は 2,950億円から 2,599億円に減少しました。Net DERの改善も着実に進んでおり、1.0倍まで低下しています。
- ・なお、2026年4月下旬に期日を迎えるシンジケートローン契約等の借り換えについては、主力行と諸条件の協議が概ね完了し、3月末までに契約を締結することを目標として進めています。

III. 2025年度 通期 業績予想

- ・ 次は、2025年度の通期 業績予想です。

中期経営計画の一部方針変更

- ・一部構造改革の取り組みについて方針を変更。これに伴い、2025年度に事業構造改革費用が発生。

1. 亀山第2工場

- 鴻海への譲渡が不成立となり、生産停止を決定。
- 既存顧客の需要に応える先行生産、在庫の確保を行ったうえで、2026年8月を目途に生産を停止予定。 [2025年度 事業構造改革費用：100億円]

- ✓ 鴻海と連携したAIデータセンター市場への参入については、亀山事業所内の他工場の活用を基本に継続推進中。
- ✓ 亀山第2工場は、生産停止後、売却を推進。

2. 塚ディスプレイプロダクト(株)

- インド大手企業液晶工場への技術移転が不成立となり、事業終息を決定。 [2025年度 事業構造改革費用：22億円]

- ・次のスライドをご覧ください。
- ・こちらに記載の通り、一部構造改革の取り組みについて、中期経営計画の想定から方針を変更しました。

昨年5月以降、鴻海への譲渡に向けて協議を進めてきた亀山第2工場は、今後、既存顧客の需要に応える先行生産、在庫の確保を行ったうえで、2026年8月を目途に生産を停止する予定です。

なお、鴻海と連携したAIデータセンター市場への参入については、亀山事業所内の他工場の活用を基本に、当初計画通り検討を推進してまいります。

また、塚ディスプレイプロダクトについても、記載の通り、事業終息を決定しており、今回の通期業績予想では、合計で122億円の事業構造改革費用を追加で織り込んでいます。

2025年度 通期 業績予想

- ・売上高と営業利益は、想定通りに進捗。
- ・業績予想に122億円の事業構造改革費用などを追加で織り込むも、
営業外損益が前回予想より改善する見通しであることもあり、前回公表の最終利益を達成できる見込み。

(単位:十億円)

	FY2024 通期実績	FY2025					Y on Y	修正額
		前回 通期予想	Q1-Q3実績	Q4予想	通期予想			
売上高	2,160.1	1,870.0	1,417.6	452.4	1,870.0	-13.4%	0.0	
営業利益 (利益率)	27.3 (1.3%)	45.0 (2.4%)	40.9 (2.9%)	4.1 (0.9%)	45.0 (2.4%)	+64.6%	0.0	
経常利益 (利益率)	17.6 (0.8%)	45.0 (2.4%)	47.7 (3.4%)	4.3 (0.9%)	52.0 (2.8%)	+194.6%	+7.0	
最終利益 (利益率)	36.0 (1.7%)	53.0 (2.8%)	67.5 (4.8%)	-14.5 (-3.2%)	53.0 (2.8%)	+46.8%	0.0	
平均為替レート								
ドル円	152.57	145.00	148.75	155.00	150.31			
ユーロ円	163.73	160.00	171.84	180.00	173.88			

SHARP

23

- ・次のスライドは、2025年度の通期業績予想になります。

- ・売上高、営業利益は想定通りに進捗しております。

また、今回、業績予想に122億円の事業構造改革費用などを追加で織り込みましたが、営業外損益が前回予想より改善する見通しであることもあり、前回公表の最終利益は達成できる見込みとなっております。

セグメント別 業績予想

(単位:十億円)	FY2024		FY2025					修正額	
	通期実績	前回 通期予想	今回			Y on Y			
			Q1-Q3 実績	Q4予想	通期予想	増減額	増減率		
スマートライフ	売上高	643.5	610.0	448.3	161.6	610.0	-33.5	-5.2%	0.0
	営業利益	21.9	33.5	21.7	8.2	30.0	+8.1	+36.5%	-3.5
	(利益率)	(3.4%)	(5.5%)	(4.8%)	(5.1%)	(4.9%)			
スマートワークプレイス	売上高	836.3	814.0	616.0	197.9	814.0	-22.3	-2.7%	0.0
	営業利益	59.6	55.5	46.7	8.7	55.5	-4.1	-7.1%	0.0
	(利益率)	(7.1%)	(6.8%)	(7.6%)	(4.4%)	(6.8%)			
ブランド事業	売上高	1,479.9	1,424.0	1,064.4	359.5	1,424.0	-55.9	-3.8%	0.0
	営業利益	81.6	89.0	68.4	17.0	85.5	+3.9	+4.7%	-3.5
	(利益率)	(5.5%)	(6.3%)	(6.4%)	(4.7%)	(6.0%)			
ディスプレイデバイス	売上高	452.2	400.0	315.4	94.5	410.0	-42.2	-9.3%	+10.0
	営業利益	-26.9	-22.0	-13.5	-5.4	-19.0	+7.9	-	+3.0
	(利益率)	(-6.0%)	(-5.5%)	(-4.3%)	(-5.7%)	(-4.6%)			
小計	売上高	1,932.1	1,824.0	1,379.8	454.1	1,834.0	-98.1	-5.1%	+10.0
	営業利益	54.7	67.0	54.8	11.6	66.5	+11.8	+21.5%	-0.5
	(利益率)	(2.8%)	(3.7%)	(4.0%)	(2.6%)	(3.6%)			
その他	売上高	257.1	46.0	46.2	0.2	46.5	-210.6	-81.9%	+0.5
	営業利益	-7.8	-1.5	0.7	-1.2	-0.5	+7.3	-	+1.0
	(利益率)	(-3.0%)	(-3.3%)	(1.5%)	(-411.5%)	(-1.1%)			
合計	売上高	2,189.3	1,870.0	1,426.0	454.4	1,880.5	-308.8	-14.1%	+10.5
	営業利益	46.8	65.5	55.6	10.3	66.0	+19.2	+40.7%	+0.5
	(利益率)	(2.1%)	(3.5%)	(3.9%)	(2.3%)	(3.5%)			
調整額	売上高	-29.1	0.0	-8.3	-2.1	-10.5	+18.6	-	-10.5
	営業利益	-19.5	-20.5	-14.6	-6.3	-21.0	-1.5	-	-0.5
	(利益率)	(1.3%)	(2.4%)	(2.9%)	(0.9%)	(2.4%)			
全社	売上高	2,160.1	1,870.0	1,417.6	452.4	1,870.0	-290.1	-13.4%	0.0
	営業利益	27.3	45.0	40.9	4.1	45.0	+17.7	+64.6%	0.0
	(利益率)	(1.3%)	(2.4%)	(2.9%)	(0.9%)	(2.4%)			

SHARP

24

- ・次のスライドにセグメント別の業績予想を記載しておりますので、ご確認ください。
- ・当社は3月16日より、本社を大阪市中央区に移転します。
2016年に本社を堺に移転して以降、10年間にわたり多大なるご支援をいただいた堺市ならびに関係各所の皆様には、心より御礼申し上げます。
- ・中期経営計画の公表以降、業績は順調に推移しており、財務基盤の改善も想定を上回るペースで進捗しております。
また、一昨年来取り組んできた「デバイス事業のアセットライト化」などの構造改革にも区切りがつきました。
- ・今後は、いよいよ再成長へと本格的に歩みを進めていく段階に入ります。
新たな地で心機一転、中期経営計画で掲げる2027年度目標「営業利益800億円」の達成に向け、取り組みを一層加速してまいります。
- ・以上で、第3四半期の決算説明を終了させていただきます。
ご清聴ありがとうございました。

IV. 補足資料

連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2024			FY2025		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
売上高	1,096.4	1,063.7	2,160.1	950.3	919.7	1,870.0
営業利益	0.4	26.8	27.3	28.9	16.1	45.0
(利益率)	(0.0%)	(2.5%)	(1.3%)	(3.0%)	(1.7%)	(2.4%)
経常利益	1.4	16.1	17.6	33.5	18.5	52.0
(利益率)	(0.1%)	(1.5%)	(0.8%)	(3.5%)	(2.0%)	(2.8%)
最終利益	22.9	13.1	36.0	45.4	7.6	53.0
(利益率)	(2.1%)	(1.2%)	(1.7%)	(4.8%)	(0.8%)	(2.8%)

SHARP

S-2

四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2024				FY2025			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4予想
売上高	531.9	564.4	561.5	502.1	472.4	477.8	467.3	452.4
営業利益	-5.8	6.2	19.9	6.9	15.3	13.6	12.0	4.1
(利益率)	(-1.1%)	(1.1%)	(3.5%)	(1.4%)	(3.2%)	(2.9%)	(2.6%)	(0.9%)
経常利益	-10.1	11.6	-0.6	16.8	18.5	14.9	14.1	4.3
(利益率)	(-1.9%)	(2.1%)	(-0.1%)	(3.4%)	(3.9%)	(3.1%)	(3.0%)	(0.9%)
最終利益	-1.2	24.2	-26.5	39.6	27.2	18.2	22.0	-14.5
(利益率)	(-0.2%)	(4.3%)	(-4.7%)	(7.9%)	(5.8%)	(3.8%)	(4.7%)	(-3.2%)

SHARP

S-3

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2024			FY2025		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
スマートライフ	315.7	327.8	643.5	291.1	318.8	610.0
スマートワークプレイス	396.8	439.5	836.3	408.5	405.4	814.0
ブランド事業	712.5	767.3	1,479.9	699.6	724.3	1,424.0
ディスプレイデバイス	226.9	225.2	452.2	211.8	198.1	410.0
小計	939.5	992.6	1,932.1	911.5	922.4	1,834.0
その他	174.1	83.0	257.1	45.3	1.1	46.5
合計	1,113.6	1,075.6	2,189.3	956.8	923.6	1,880.5
調整額	-17.2	-11.9	-29.1	-6.5	-3.9	-10.5
全社	1,096.4	1,063.7	2,160.1	950.3	919.6	1,870.0

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-4

セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2024			FY2025		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
スマートライフ	7.7 (2.4%)	14.2 (4.3%)	21.9 (3.4%)	13.2 (4.6%)	16.7 (5.2%)	30.0 (4.9%)
スマートワークプレイス	22.4 (5.7%)	37.1 (8.5%)	59.6 (7.1%)	32.9 (8.1%)	22.5 (5.6%)	55.5 (6.8%)
ブランド事業	30.2 (4.2%)	51.4 (6.7%)	81.6 (5.5%)	46.2 (6.6%)	39.2 (5.4%)	85.5 (6.0%)
ディスプレイデバイス	-12.5 (-5.6%)	-14.3 (-6.4%)	-26.9 (-6.0%)	-8.7 (-4.1%)	-10.2 (-5.2%)	-19.0 (-4.6%)
小計	17.6 (1.9%)	37.1 (3.7%)	54.7 (2.8%)	37.5 (4.1%)	29.0 (3.1%)	66.5 (3.6%)
その他	-7.5 (-4.3%)	-0.3 (-0.4%)	-7.8 (-3.0%)	1.2 (2.7%)	-1.7 (-148.7%)	-0.5 (-1.1%)
合計	10.0 (0.9%)	36.7 (3.4%)	46.8 (2.1%)	38.7 (4.0%)	27.2 (3.0%)	66.0 (3.5%)
調整額	-9.6	-9.9	-19.5	-9.7	-11.2	-21.0
全社	0.4 (0.0%)	26.8 (2.5%)	27.3 (1.3%)	28.9 (3.0%)	16.0 (1.7%)	45.0 (2.4%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-5

四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2024				FY2025			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4予想
スマートライフ	157.1	158.6	172.5	155.2	140.3	150.7	157.1	161.6
スマートワークプレイス	189.4	207.4	219.1	220.3	189.3	219.1	207.5	197.9
ブランド事業	346.5	366.0	391.7	375.6	329.7	369.9	364.7	359.5
ディスプレイデバイス	101.7	125.2	122.3	102.9	109.2	102.6	103.5	94.5
小計	448.2	491.2	514.0	478.6	439.0	472.5	468.2	454.1
その他	93.3	80.7	54.2	28.8	38.0	7.2	0.8	0.2
合計	541.6	572.0	568.2	507.4	477.0	479.8	469.1	454.4
調整額	-9.6	-7.5	-6.6	-5.2	-4.5	-1.9	-1.7	-2.1
全社	531.9	564.4	561.5	502.1	472.4	477.8	467.3	452.4

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-6

四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2024				FY2025			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4予想
スマートライフ	4.1 (2.6%)	3.5 (2.3%)	7.3 (4.3%)	6.8 (4.4%)	6.8 (4.9%)	6.4 (4.2%)	8.4 (5.4%)	8.2 (5.1%)
スマートワークプレイス	10.1 (5.4%)	12.3 (5.9%)	22.1 (10.1%)	15.0 (6.8%)	14.2 (7.5%)	18.7 (8.6%)	13.7 (6.6%)	8.7 (4.4%)
ブランド事業	14.3 (4.1%)	15.8 (4.3%)	29.4 (7.5%)	21.9 (5.8%)	21.0 (6.4%)	25.1 (6.8%)	22.2 (6.1%)	17.0 (4.7%)
ディスプレイデバイス	-10.9 (-10.8%)	-1.6 (-1.3%)	-3.4 (-2.8%)	-10.8 (-10.6%)	-2.5 (-2.3%)	-6.2 (-6.1%)	-4.8 (-4.6%)	-5.4 (-5.7%)
小計	3.3 (0.7%)	14.2 (2.9%)	26.0 (5.1%)	11.0 (2.3%)	18.5 (4.2%)	18.9 (4.0%)	17.3 (3.7%)	11.6 (2.6%)
その他	-4.0 (-4.3%)	-3.4 (-4.3%)	-1.5 (-2.9%)	1.2 (4.4%)	1.3 (3.5%)	-0.1 (-1.6%)	-0.5 (-58.8%)	-1.2 (-411.5%)
合計	-0.6 (-0.1%)	10.7 (1.9%)	24.4 (4.3%)	12.3 (2.4%)	19.9 (4.2%)	18.8 (3.9%)	16.8 (3.6%)	10.3 (2.3%)
調整額	-5.1	-4.4	-4.5	-5.3	-4.6	-5.1	-4.8	-6.3
全社	-5.8 (-1.1%)	6.2 (1.1%)	19.9 (3.5%)	6.9 (1.4%)	15.3 (3.2%)	13.6 (2.9%)	12.0 (2.6%)	4.1 (0.9%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-7

設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	FY2024			FY2025		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
設備投資	14.4	15.5	29.9	16.3	18.7	35.0
内:ディスプレイ	6.1	3.8	10.0	6.1	5.4	11.5
減価償却費	21.8	19.4	41.3	15.0	17.0	32.0
研究開発費	39.1	37.1	76.3	34.7	37.3	72.0

(単位:円)

平均為替レート	FY2024			FY2025		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
米ドル	152.61	152.52	152.57	146.04	154.58	150.31
ユーロ	165.91	161.55	163.73	168.06	179.70	173.88

SHARP

S-8

四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	FY2024				FY2025			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4予想
設備投資	6.2	8.1	5.3	10.1	5.1	11.1	6.6	12.1
内:ディスプレイ	2.5	3.5	1.5	2.3	1.2	4.9	2.1	3.3
減価償却費	11.0	10.8	10.7	8.7	7.5	7.4	7.2	9.8
研究開発費	17.2	21.9	18.2	18.9	17.0	17.7	16.6	20.7

(単位:円)

平均為替レート	FY2024				FY2025			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4予想
米ドル	155.89	149.32	152.44	152.61	144.60	147.48	154.15	155.00
ユーロ	167.88	163.95	162.59	160.50	163.81	172.31	179.39	180.00

SHARP

S-9

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社(以下、総称して「シャープ」という)の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※最終利益(損失)…

親会社株主に帰属する当期純利益(損失)など

※開示セグメント及び略号

スマートライフ(SL)、スマートワークプレイス(SW)、ディスプレイデバイス(DD)

SHARP

ひとの願いの、半歩先。

SHARP